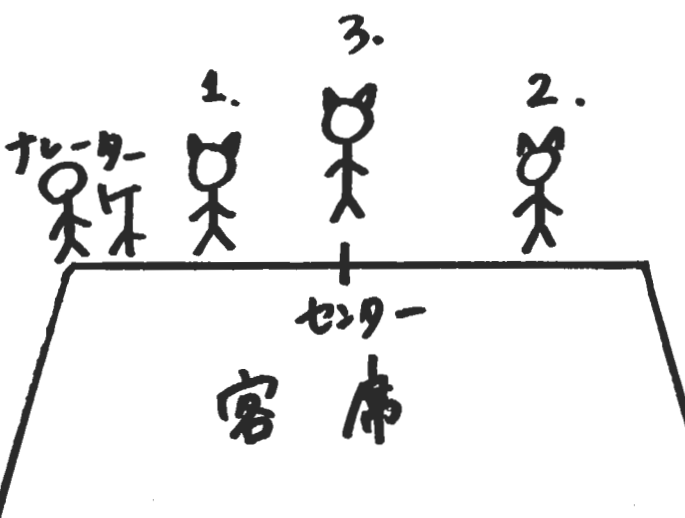
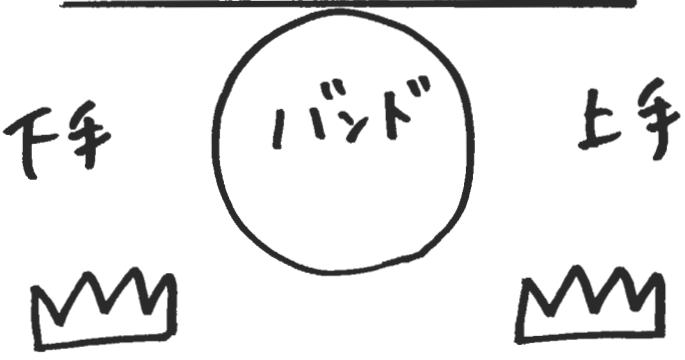


ひな壇



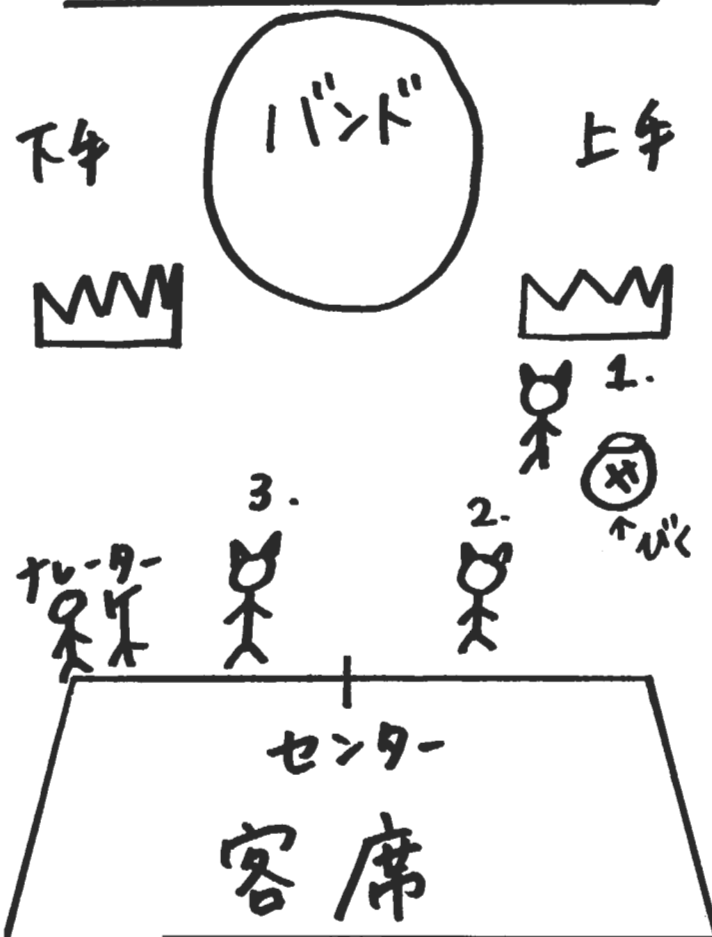
①序曲

1. 「畑に入って・・・」で下手側の草と舞台の間に移動する。芋を掘る演技。指で上手側を指差してから移動。
2. 「火をつけたり・・・」で口に手を当てて火をおこす演技。「百しよう家の・・・」で下手側を指差してから移動。
3. 「とんがらしを・・・」センターに移動し、むしる演技。「しました。」の後、満足気に下手側の舞台袖にはける。

②ごんのテーマ

1. 「ふと見ると・・・」で何かを探るように兵十の方を見る。
2. 「兵十だな。」で手をポンとして、理解したという演技。
3. 「兵十だな。」と「兵十は・・・」のあいだの音だけの部分で下手側の草の裏に嬉しそうに移動し、草の裏に隠れる演技。草の裏に移動した後は、兵十の方をのぞく姿勢のまま静止。

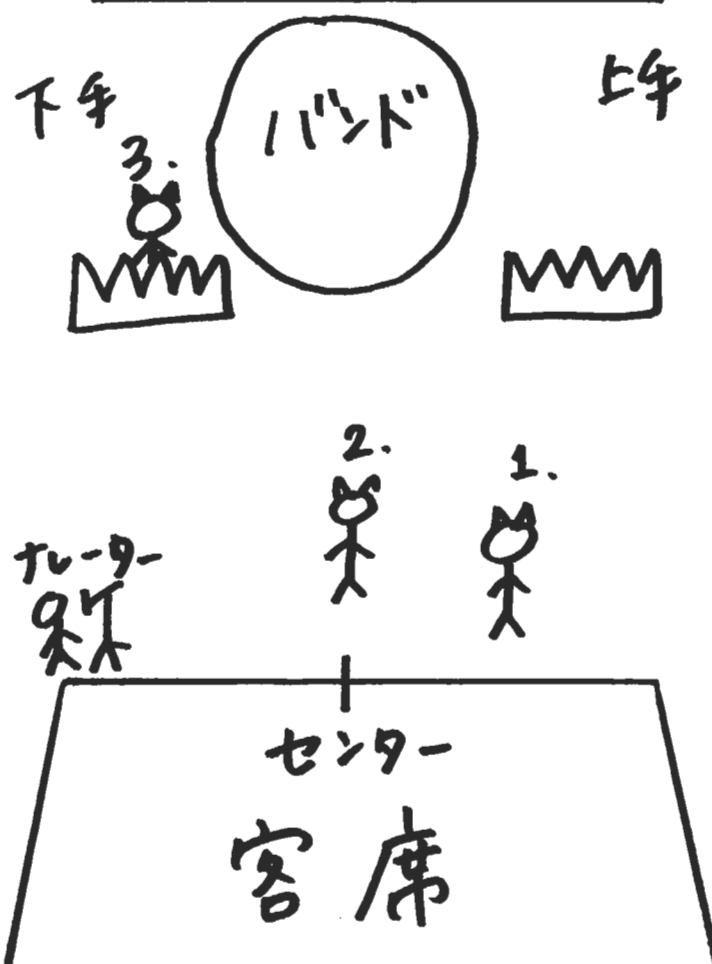
ひな壇



③ごんのテーマ2

1. 「魚をつかみ出しては・・・」で、びくの前に移動し、びくの中の魚をつかむ。「ぼんぼん・・・」で、魚が生きているかのように演技しながら、上手側の草の裏を狙って魚を投げ込む。
2. 「太いうなぎを・・・」で、もう一度びくの中に手を入れてうなぎを出そうとする。「ぬるぬると・・・」で、うなぎがぬるぬるしていてなかなか出せない演技。
3. 「うなぎの頭を・・・」で、うなぎを取り出しうなぎが首に巻きつく演技。「うわあ！・・・」で、兵十の方を向いて、驚いた演技のまま静止。

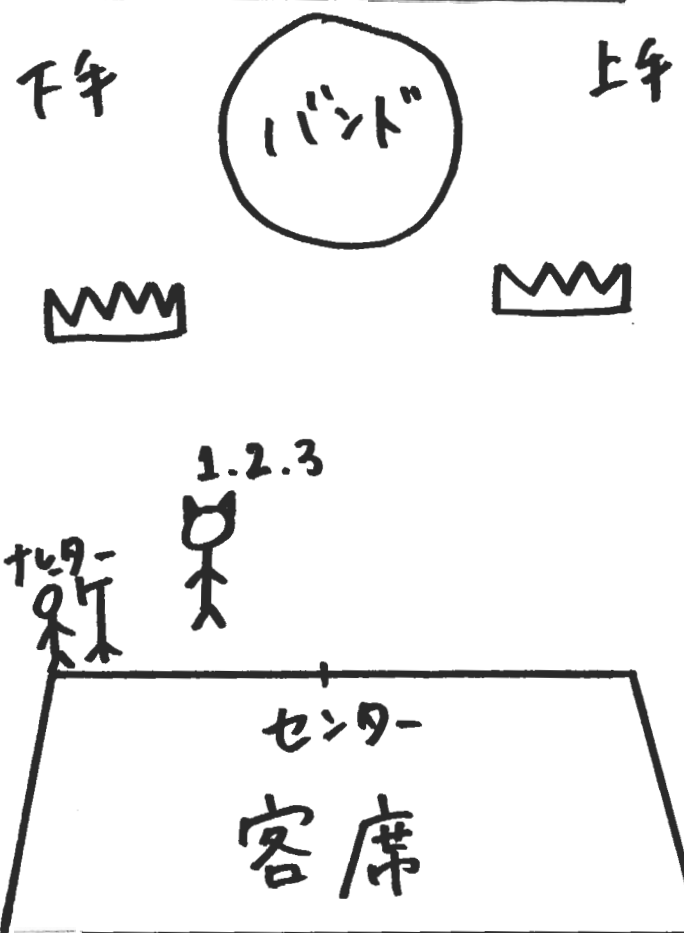
ひな壇



④ごんのテーマ3

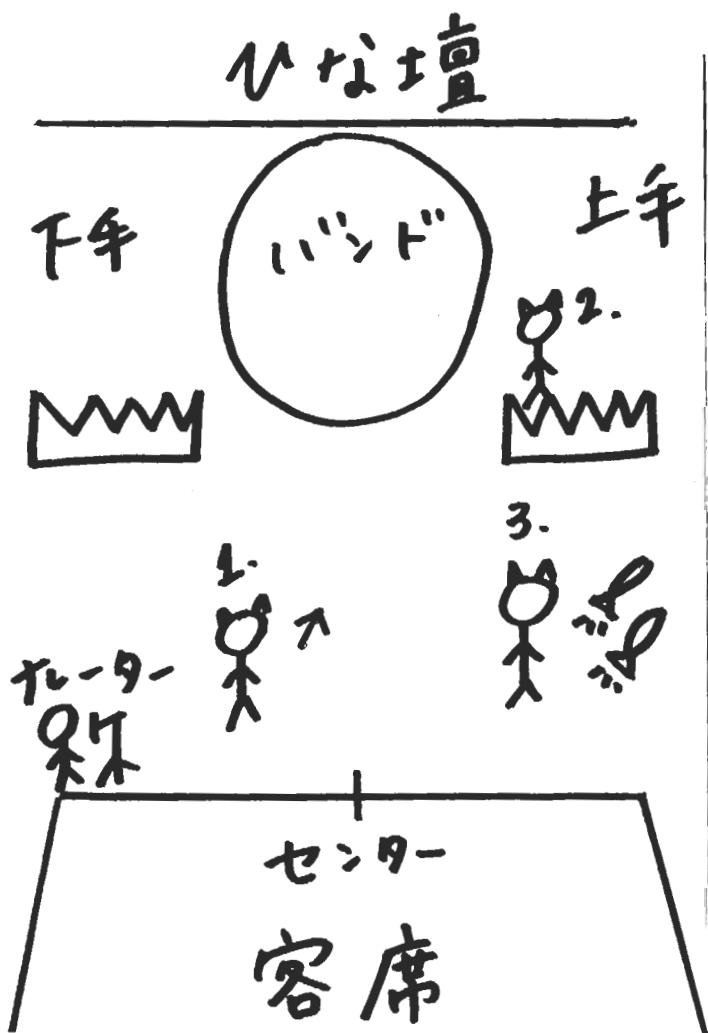
1. 「振り返って・・・」で、兵十を探すように周りを見渡す演技。演技をしながらセンターに移動。
2. 「頭を噛み砕き・・・」で、首に巻きついていたうなぎを噛む演技。「穴の外の・・・」下手側の草の裏に移動する。
3. 「草の葉の上に・・・」下手側の草の後ろにうなぎを隠し、下手側の草の舞台の袖にはける。

ひな壇



⑤葬列のテーマ

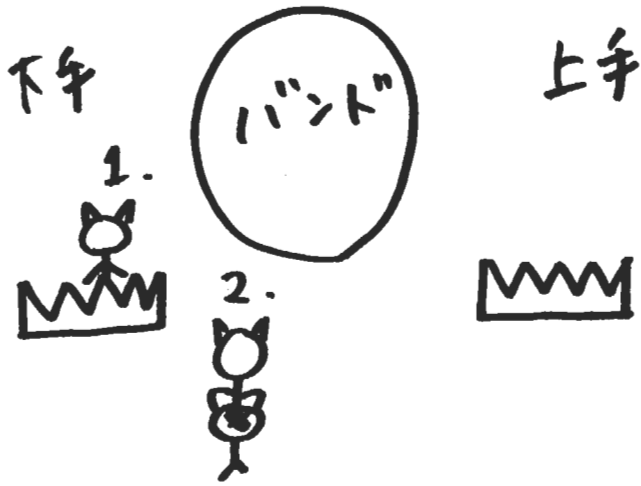
1. 「十日ほどたって・・・」で下手から入場
センターとナレーションの間に止まる
「兵十の家の前には・・・」でハッと驚き後ずさりし、兵十をのぞき込むように見る(そのまま静止)
2. 「どこからか・・・」で下手から何かが聞こえてくるように耳に手を当てる。「あ、葬式だ・・・」で前を向いて、何かに気づいたように顔を上に向ける。
「兵十の家の誰が・・・」で腕を組み、考え込む素振りをする
「よく見てみると」で顔を兵十の方に向ける
3. 「はっは一ん・・・」で前を向き、手をポンと打つ。
「ごんは穴の中で・・・」でしゃがみこみ、ほおづえをついて考え込む(そのまま静止)



⑥ごんのつぐない

1. 「その威勢のいい・・・」で、下手側から上手側の2の場所に移動。
2. 「うなぎのつぐない」で、周りをうかがう演技。
「いわし売りが・・・」で、一度嬉しそうにうなづく演技。
草の裏で魚を持つ。
3. 「いわしをとって・・・」で、一度嬉しそうにうなづく演技。
「家の中に投げ込み・・・」で、上手側の舞台袖をめがけて魚を投げ込む。そのまま魚じゃ上手側にはけるので、思いきりなげる。

ひな壇



⑦ごんのつぐない2

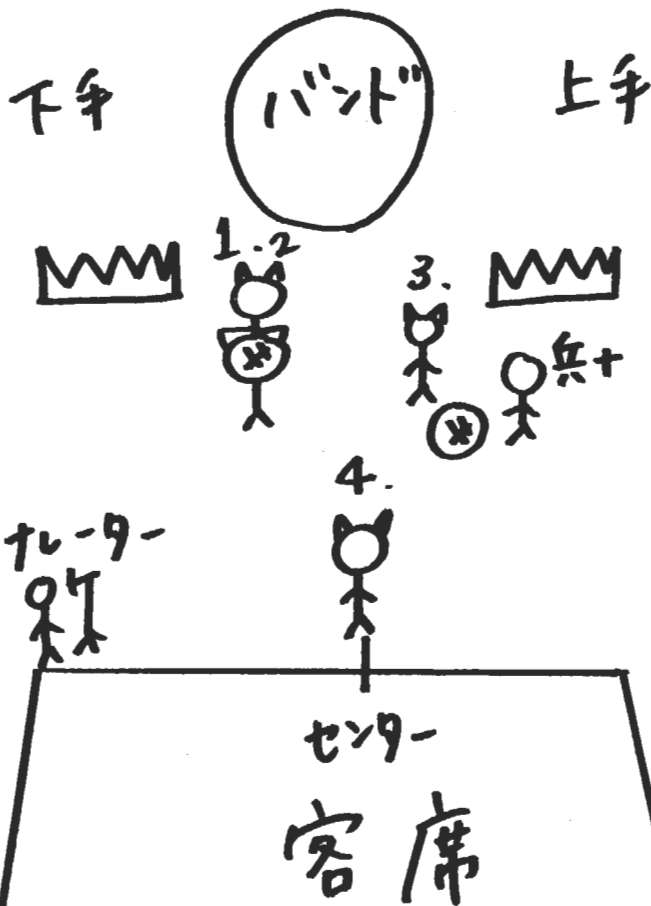
1. 「次の日には…」で。下手側の草の後ろに移動して、栗やきのこが乗ったザルを持って立ち上がる。

2. 「裏口から…」でザルを持ったまま草の裏から2・3歩歩いて出る。

歩きながら兵十の方をのぞく演技。

センターではなく、少し下手側に出たら静止。

ひな壇



⑧ごんのつぐない3

1. 「あ、これはしまった…」で、ザルをもったままがっくりと肩と頭を落とす演技。

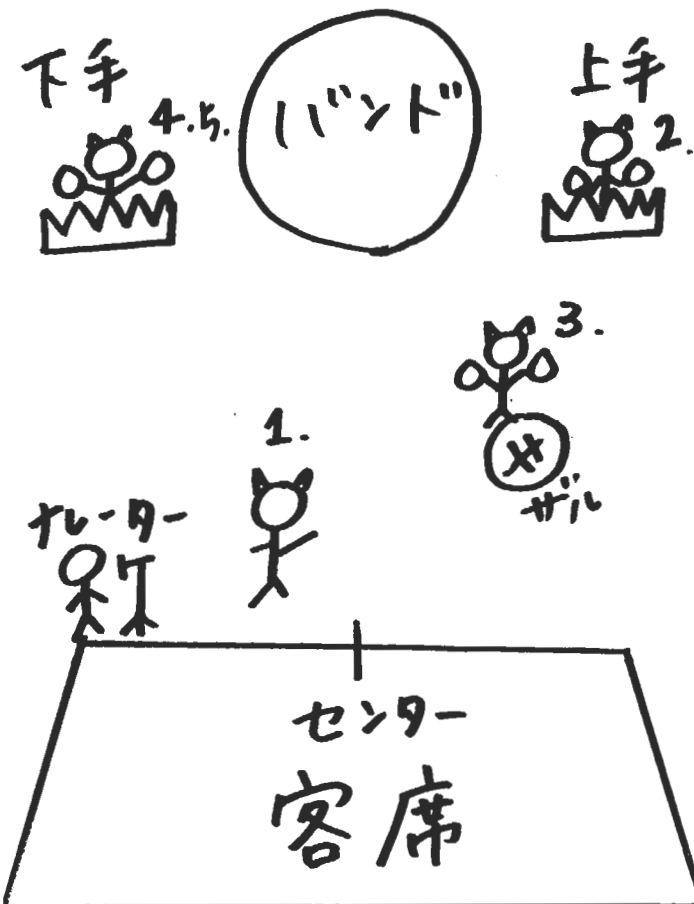
「こう思いながら…」で、ゆっくり頭を上げて2階席あたりを見る。

3. 「その入り口に…」で、置いたザルが兵十にかぶらない位置にゆっくりとザルを置く。

4. 「兵十のうちへ…」で、ゆっくりとセンターに移動する。感情をこめて体を使いながら歌う。

コーラスだけの「わたしのころ」で下手側にはけていく。

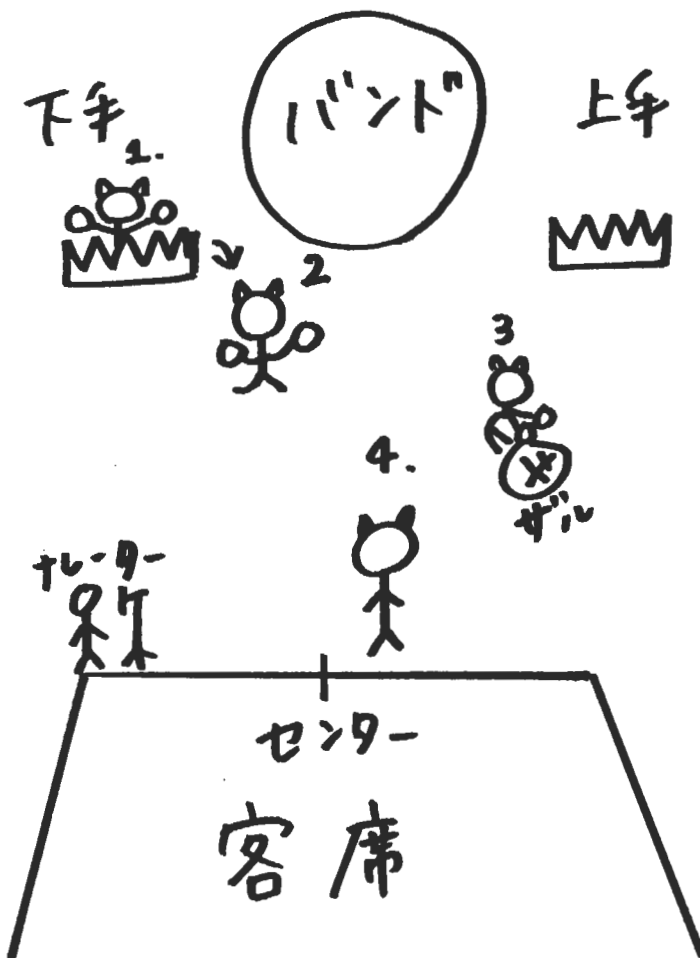
ひな壇



⑨間奏曲

1. 9小節1拍目から下手側から出てくる。
センターの近くで栗を見つけて、上手側の草を指差す演技。
2. 3万円の松たけを見つけた時のような嬉しそうな演技。
栗ときのこを持つ。
3. スキップしながらザルに栗ときのこを置く。4を指差す。
4. 2と同じように栗ときのこを持って喜び、3の場所に置く。
置いたあとときのこなどを探す演技。
5. 5に移動し、57小節3拍目でしゃがみ、静止する。

ひな壇



⑩ナレーションのみ1

1. 「その明るく日も…」で、栗を2つ持って草から
2・3歩出てきて静止。
2. 「裏口からこっそり…」で、栗を持ったまま、ザルを
目指して3歩ほど歩く。「その時兵十は…」完全に停止。
3. 「こないだ…」動き始める。ゆっくりと歩いて
ザルの前に立つ。「またいたずらを…」で、ザルの中に
栗をゆっくり置いて、しゃがんだまま静止。
4. 「戸口を出ようと…」で立ち上がって、センターに
向かって2歩進む。とびきりの笑顔をつくる。
進んだあとは静止。

ひな壇

下手



上手



1.2.3



テ-タ-
人 人

セ-タ-
客席

⑪ごんの死1

1. Perc.の効果音の少し後に撃たれる演技をして倒れる。

倒れる位置は草と舞台の端の真ん中に倒れる。

使用者の通る道を作っておく。

2. ナレーションが入るまで静止。

3. 「ばたりと倒れました…」で苦しみ始める。

ひな壇

下手



上手



1.2.3



テ-タ-
人 人

セ-タ-
客席

⑫ごんの死2

1. おおげさに苦しむ。2回起き上がろうとするけど力がなくて崩れる。

2. 「ごん、お前だったのか…」で手を床について腕をまっすぐに伸ばして体を起こす。

3. 「ごんはぐったりと…」で、何かを飲み込むかのように目をつむる。

「頷きました。」で2回大きく頷く。

最後の力を振り絞る感じで頷く。

ひな壇



1.2.3



ル-ター
人々

センター
客席

⑬ごんの死3～さようなら

1. 「火縄銃をぱたりと…」で、兵十のほうにがんばって体を向ける演技。表情は苦しい。
 2. 「青い煙が…」で、手を伸ばして表十と手を取り合う。手を握ったら高く手を上げる。表情を変えてにっこり笑う。
 3. 死ぬので無表情になる。
- ”さようなら”に入って2小節目で力を抜いてぱたりと倒れる。
- 死んだあとは静止。